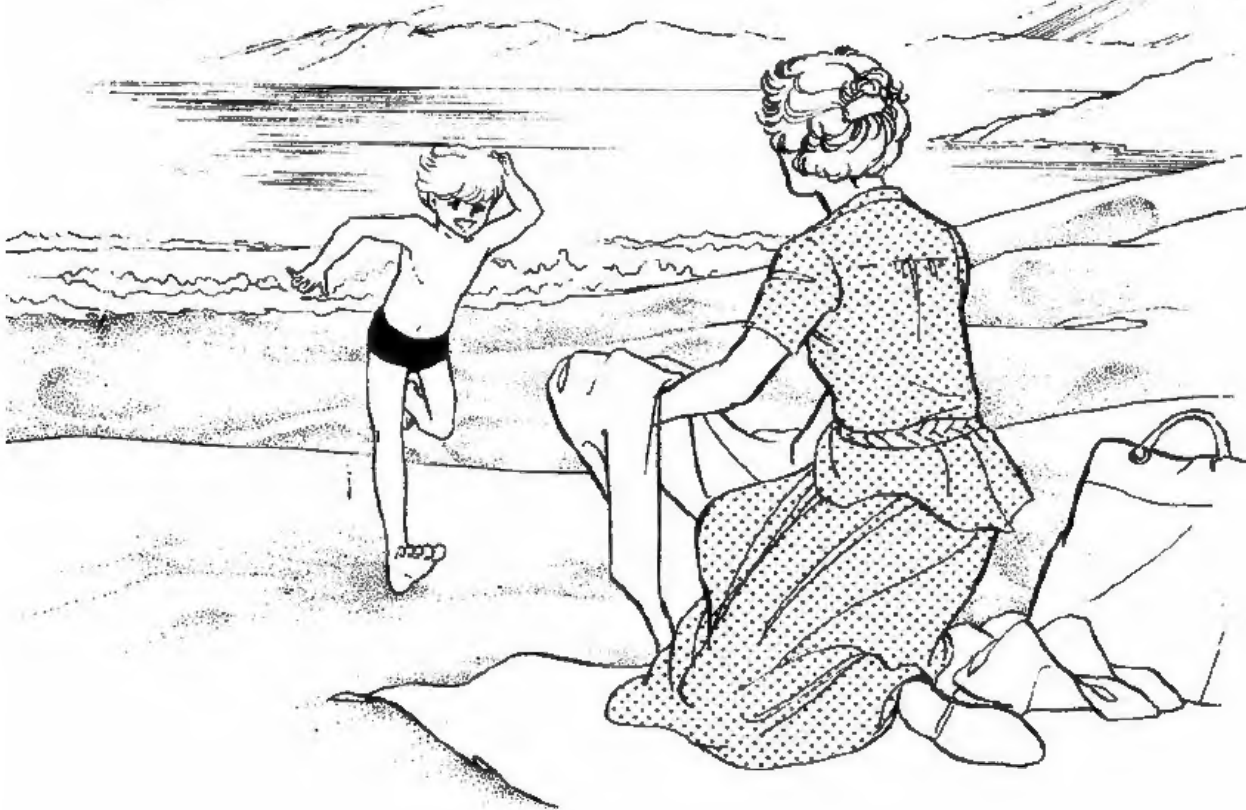
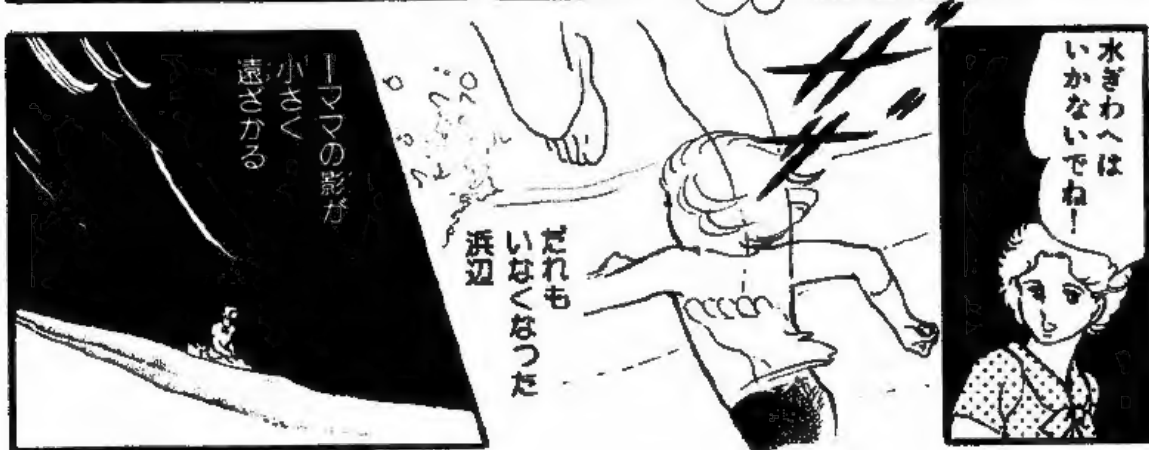
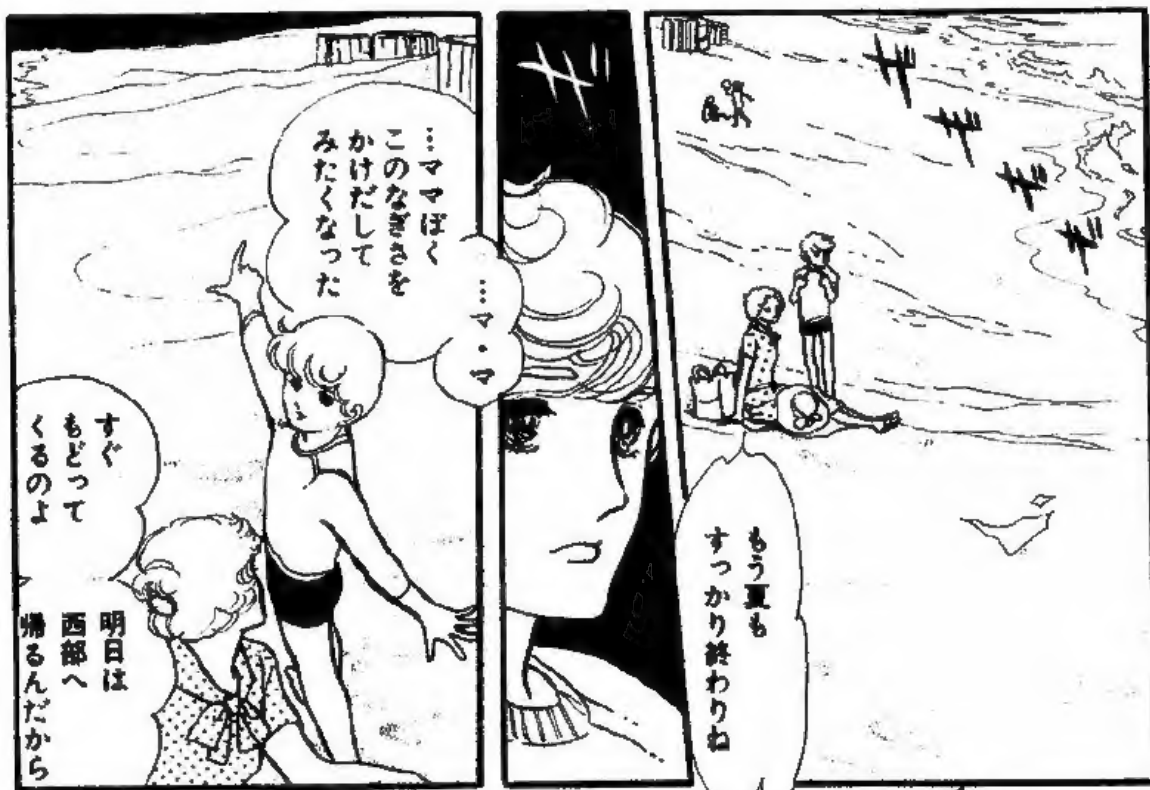




みずうみ







なぎさは九月
風がほくを
もちあげる
明日は帰るのだ
これはなぎさの
最後の日



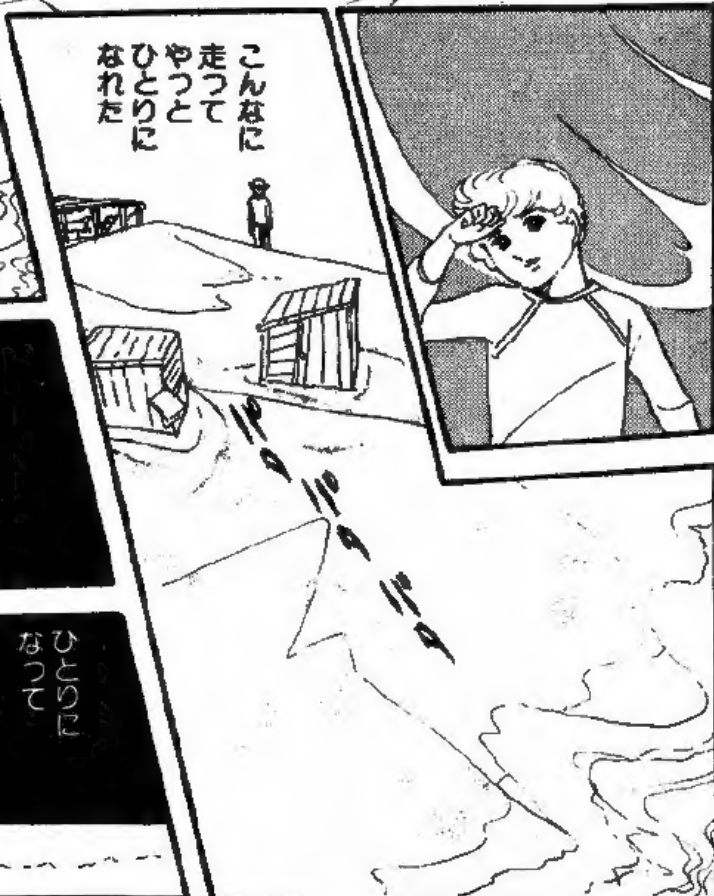
あとあなたが
いつも
このものを
ああしろ
こうしろと
世話をやんから



—だから



ひとり
なつて
やつて
眠ひかける
ことがきる



こんなに
走つて
やつと
ひとりに
なれた







よく笑う
彼女はどこに
いったのだろう



そうして
夏がすぎた



タリーは
みづから
なかつた



監視人は
水に何度ももぐり
タリーをさがした



ほくはまだ12だった
彼女への恋を知っていた

タリー!

タリー...帰っておいで

タリー!
帰っておいで!

タリーを
かえせ
.....!

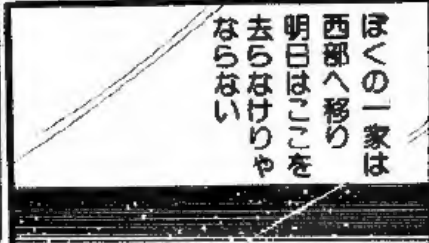
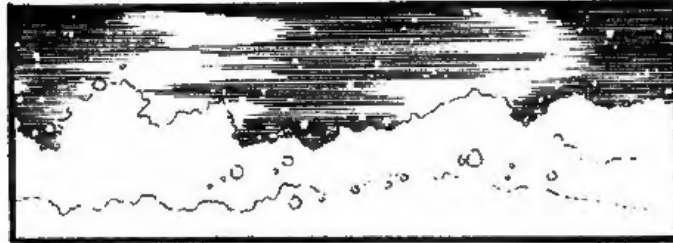
みずうみ
みずうみ



秋がきても
タリーはいない



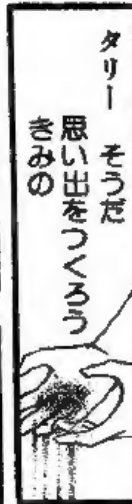
いつも新学期には
彼女の教科書を
もってあげた
もののなに



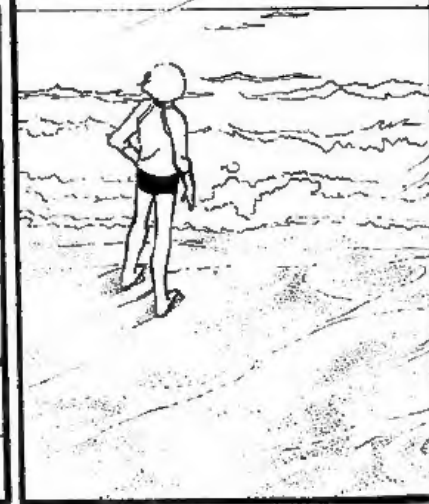
ぼくの一家は
西部へ移り
明日はここを
去らなければ
ならない



砂の城
いくつもいくつも
つくつたね



タリー そうだ
思い出をつくらう
きみの



タリー
ぼくの声が聞こえたら
帰っておいで！
帰ってきて...

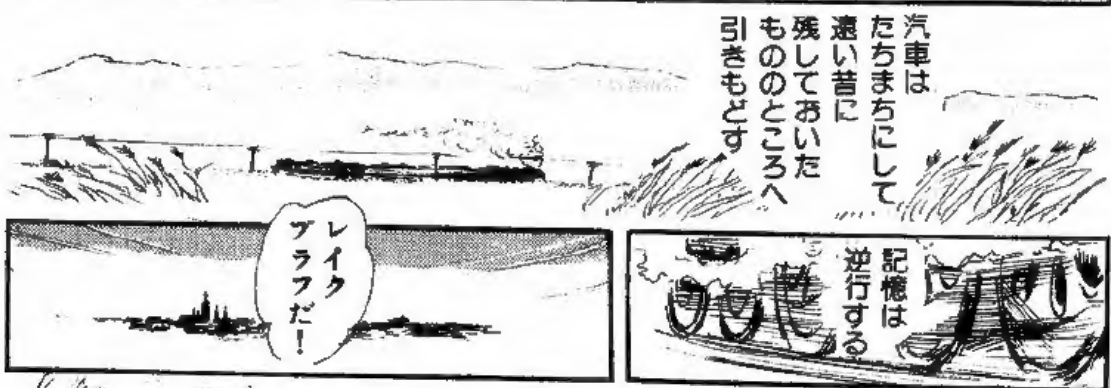


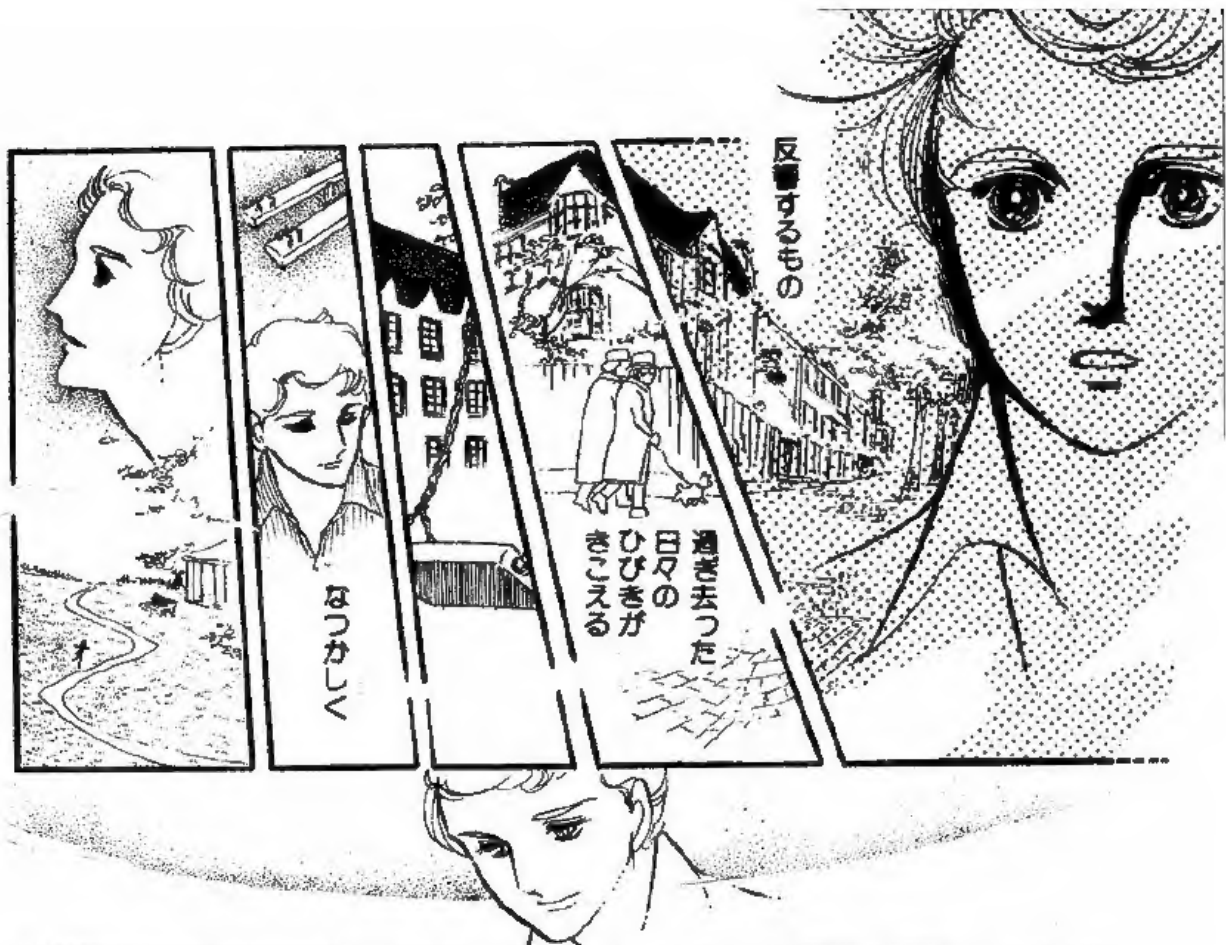
.....このあとの
半分をつくらう
おくれ

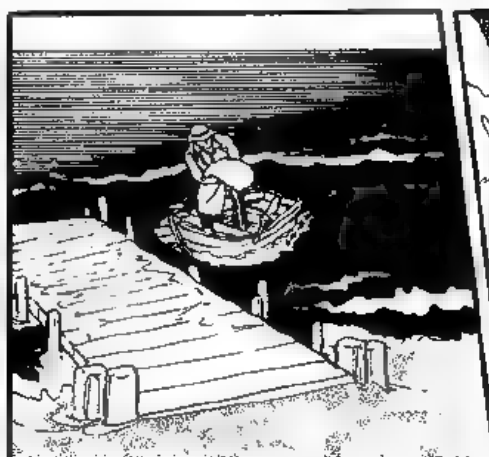
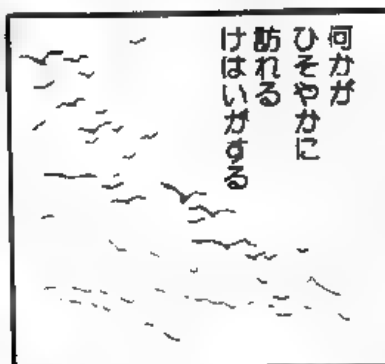


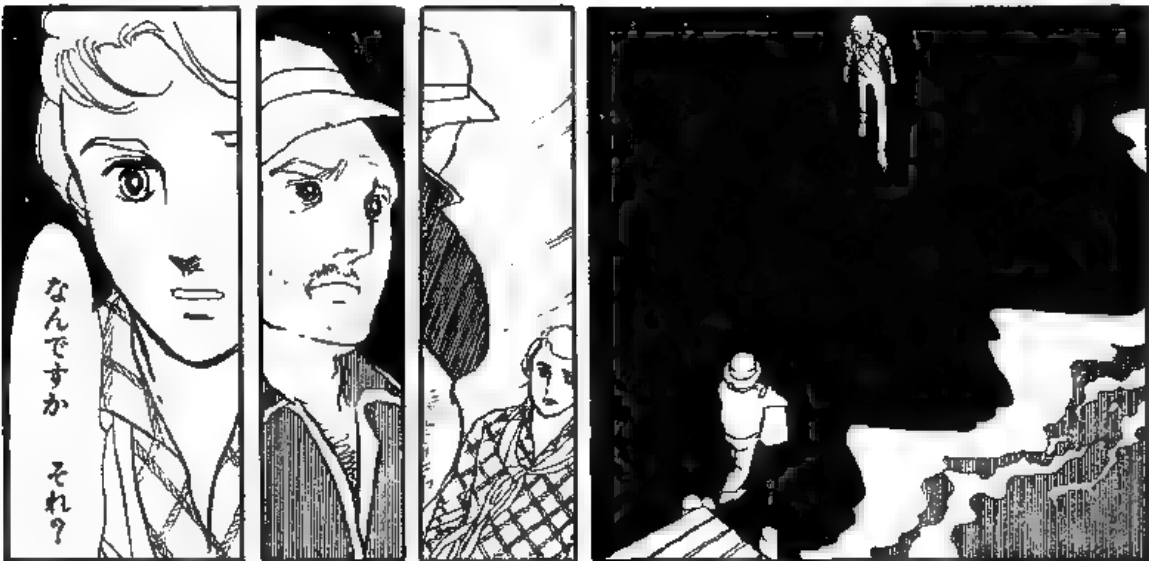
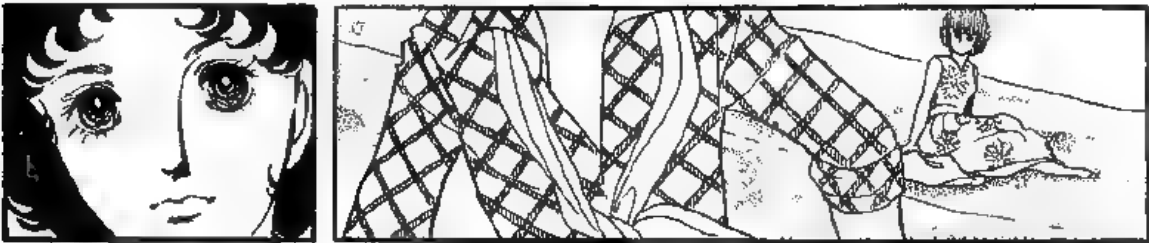














かわったものですよ

…かわったものです
…長年監視人を
やっていますが

こんなものは
はじめて
みました

死んでからもう
ずいぶん長いこと
たってるんです

十年間ですよ

…ながいこと

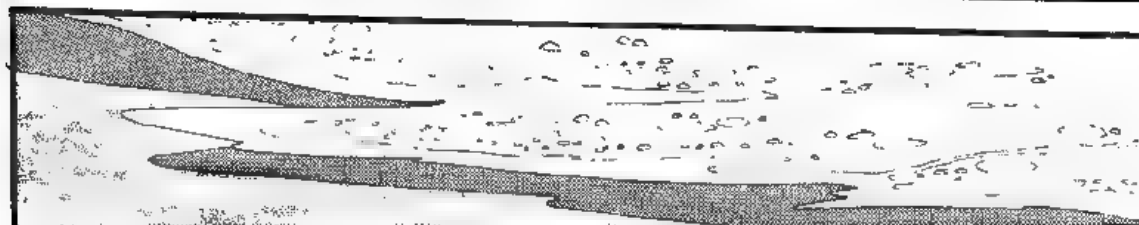
今年は
子どもの
溺死は
ひとりもない

1933年からこつち
12人子どもが
溺れ死にました
どれもわりとすぐに
発見されました

わたしの記憶では
例外は
一件だけです

これが…
それですが

なぜ
そんなに
長い間
水の中に
いたんでしょう
ね









彼女を愛する

ほくもまた
永遠に

永遠に
かわらない
タリー

永遠に
幼いタリー

くりかえし
くりかえし
あしよせるが
いい

おおい

砂の城

波が消す
タリーの足音

